

第6回協働実践研究会

日本語教育における協働学習実践研究シンポジウム

日時：2013年11月23日（土）10:30～17:20

➤ 受付は、10:00 より開始します。

場所：東京海洋大学 品川キャンパス

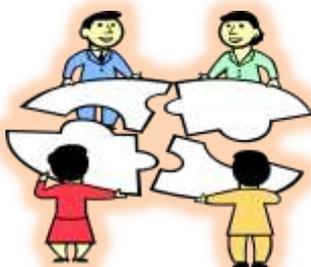
白鷹館2階 多目的スペース1（午前）

白鷹館1階 講義室（午後）

参加費：500 円（資料代として）

★18:00 より懇親会：1000 円（軽食）

□願書表申込（10月31日（木）締切）、研究会参加申込の詳細は、
協働実践研究会ホームページ（<http://kyodo-jissen-kenkyukai.com/>）をご覧ください。



主催：科学研究費補助金 基盤研究B

「日本語教育における協働学習の実践・研究のアジア連携を可能にする
プラットフォーム構築」代表 池田玲子

緊急連絡先：東京海洋大学 トンプソン 美恵子 03-5463-0645

日本語教育における協働学習実践研究シンポジウム～プログラム～

時間	内容 総合司会：近藤彩（政策研究大学院大学）	
10:30～10:35	東京海洋大学長 岡本 信明先生ご挨拶	
	研究発表 司会：岩田夏穂（大月短期大学）	
10:35～11:05	①楊姍燁(台湾 銘伝大学)「学習者の立場から見たピア・レスポンスの有効性についての一考察－台湾の日本語学習者を対象として－」	
11:05～11:35	②趙冬茜(早稲田大学大学院)「協働学習に対する意識調査－教師と学習者の対照を中心に－」	
11:35～12:05	③趙宣映(韓国 培材大学)「基礎日本語におけるピア・ラーニングの可能性－教養科目としての授業において－」	
12:05～12:35	④孫雪嬌・クラスナイいづみ・平澤栄子・道端輝子・山下佳恵(早稲田大学大学院)「協働で読むとは何か－協働でテキストを読む実践で生まれた実習生の葛藤から－」	
休 憩		
13:15～14:30	ポスター発表「海外における協働学習」	
	発 表 者	王 文賢（中国海洋大学・中国） 劉 娜（大連外国語大学・中国） 倉持 香（弘益大学校・韓国） 荒井 智子（銘伝大学・台湾） 張 瑜珊（新生医護管理専科学校・台湾） フランキー ナヨアン（マナド国立大学・インドネシア） ツルバートル・オノン（モンゴル国立大学・モンゴル）
休 憩		
	パネルセッション	発表者
14:40～15:00	プロジェクト立ち上げの経緯・目的	池田 玲子（東京海洋大学）
15:00～15:15	中国からの報告①	林 洪 （北京師範大学）
15:15～15:30	中国からの報告②	朱 桂栄（北京外国語大学）
15:30～15:45	韓国からの報告	金 志宣（梨花女子大学校）
休 憩		
15:55～16:10	台湾からの報告	羅 暁勤 （銘伝大学）
16:10～16:25	モンゴルからの報告	ナイダン バヤルマ （モンゴル国立教育大学）
16:25～16:40	タイからの報告	スニラット ニャンヂャーソック （タマサート大学）
16:40～16:55	インドネシアからの報告	ディニ ブディアニ （リアウ大学）
16:55～17:20	全体討論（パネルディスカッション） 今後のアジアの協働学習の課題	舘岡洋子（早稲田大学） 金孝卿（国際交流基金 シドニー日本文化センター）
	協働実践研究会HP再開の報告	事務局 岩田夏穂